



コツコツ とことん

大仙市立太田中学校
令和3年6月1日
NO. 25



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～



本気でやるから
本気でやるから
本気でやるから

「博しい」
「楽しい」
「勉強」

を知ることが出来る
を知ることが出来る
が面白くなる

前期中間テスト

総合的な学力の向上を目指して

今日6月1日(火)、前期中間テストを実施しました。今年度初めて、1年生は中学校入学後初の定期テストです。結果が大いに気になるころだと思いますが、「ある程度よかったから満足、思うような結果にならなかったから落胆」では、そこで止まってしまう。その結果には必ず原因が…、満足できる結果でも不本意な結果でも、そこには必ず課題があるはず。コマーシャルではありませんが、原因を元から絶たなければダメ、課題を解決しなければ進歩は見込めないのではないのでしょうか。

人は「失敗」のほうが多いと言っているかもしれませんが。「失敗」を放置せず、「失敗」から学ばずして「成功」にはたどり着けない、「失敗」が人を強くするといっても過言でないと思っています。

テストはいやなものかもしれませんが、自分を知る材料になりますし、自分を伸ばす材料にもなります。どうせやらなければならないテストですので、逃げず、自分のために利用してほしいものです。

特に3年生は、先週28日(木)に全国学力・学習状況調査(国語、数学)を受けました。明日はその調査の英語、その後も実力テストや定期テストと、この1年多くのテストが待っています。

私たち教職員もテストを活用し、その結果を踏まえながら生徒の総合的な学力(学習意欲+点数)の向上につなげていきます。

あきらめないことだ 一度あきらめると習慣になる
(精神科医・随筆家：斎藤茂太)

間違いと失敗は我々が前進するための試練である
(俳優：チャニング)

苦しいから逃げるのではない 逃げるから苦しいのだ
(心理学・哲学者：ウィリアム・ジェームズ)

**蛍光ペンで要所を塗っても何も頭には入っとらん
そうすることで勉強した気になっているだけだ**
(ドラゴン桜：桜木建二)

**失敗が人間を成長させると考えている
失敗のない人なんて本当に気の毒に思う**
(本田技研創業者：本田宗一郎)

**世の中に失敗というものはない チャレンジしている
うちは失敗はない 諦めた時が失敗だ**
(京セラ創業者：稲盛和夫)

『あきらめからは、何も生まれません』
今年度の飛躍につなげる意味でも、「失敗」の捉え方を変えたいものです。